

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 ー分析から見てきた成果・課題と今後の取組についてー

区 名	此花区
学 校 名	四貫島小学校
学校長名	能勢 由美

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

### 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 調査内容

#### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

#### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

### 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・四貫島小学校では、第6学年 42名

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

- 国語・理科は、全国・大阪市を上回った。算数は、全国・大阪市を下回った。  
国語：全国比+3.2ポイント 大阪市比+5ポイント  
算数：全国比-1ポイント 大阪市比-1ポイント  
理科：全国比+0.9ポイント 大阪市比+3ポイント  
○無回答率は、国語・理科で、全国・大阪市平均より低かった。

## 分析から見てきた成果・課題

## 教科に関する調査より

## 〔国語〕

全体的に全国及び大阪市平均を上回っている。とくに、漢字の知識・技能に関する回答率は、全国・大阪市平均を大きく上回った。漢字検定に向けて校内の漢字検定に取り組んだ成果があらわれた。文章の要旨の把握や必要な情報の読み取りを問われる問題は、全国・大阪市平均に及ばないものもあった。無答率は低く、積極的に回答する姿勢がみられる。

## 〔算数〕

データの活用、数の計算において、全国及び大阪市平均を上回った。図形、変化と関係の領域において、全国及び大阪市平均を下回った。

## 〔理科〕

全体的に全国及び大阪市平均を上回っている。思考・表現の観点において、全国及び大阪市平均を下回る問題があった。

## 質問調査より

## 〔基本生活習慣〕

「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の質問で、全国・大阪市と比べ大差は見られない。

## 〔自尊感情〕

「自分には良いところがあると思いますか」の設問で、およそ88%が「当てはまる」「やや当てはまる」と答えた。全国・大阪市平均とほぼ同程度であった。

## 〔学びの充実〕

「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」の設問では、「あてはまる」「ややあてはまる」と答える児童がおよそ83%で、全国・大阪市平均とほぼ同程度であった。

## 〔家庭学習・学習習慣〕

「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾・家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」の設問で、「2時間以上（3時間以上を含む）」と回答をした児童は22.0%で、全国・大阪市平均を上回っている（全国14.4%、大阪市12.1%）、30分より少ない・全くしないと回答する割合は22%で、大阪市平均よりも良い（全国18.6%、大阪市27.5%）。家庭学習の習慣が身についている児童が多いことがうかがえる。

## 〔学校・家庭・地域の連携〕

「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の設問では68.3%の児童が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した。全国・大阪市平均を下回っている（全国81.3%、大阪市79.2%）。昨年度は96.7%で、学年によって大きな差がある。

## 今後の取組(アクションプラン)

学力向上支援チーム事業を活用して、研究部を中心としたより質の高い授業研究を組織的に進め、教員全体の指導力の向上を図る。ICTの活用、図書館の充実等を支援員や学校司書と協力して推進し、よりよい学習環境を整備する。家庭においても、家庭学習の定着と充実を進められるよう、学校だよりや学年だより、学校ホームページ等による学校からの情報発信を積極的に行い、家庭と学校の両輪で子どもたちの学びを進める体制を整える。四貫島の子どもの学びをより質の高いものにするため、今年度発足した校内組織「学力向上プランニングチーム」を中心に、指導力向上・学びの環境整備に組織的に取り組む。学校・家庭・地域が連携し、安心・安全な学びの環境を整備し、子どもたちがのびのびと学ぶことができる環境づくりを推進する。